（4）主要事業（道路事業）

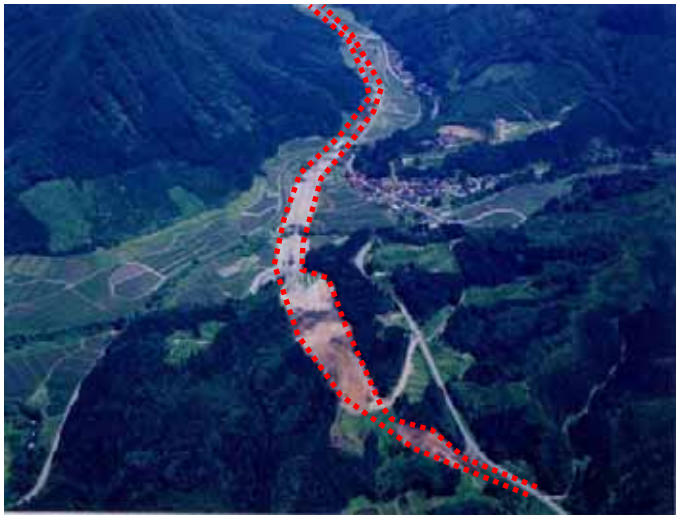
1）主寝坂道路（全線暫定2車線供用、継続）

山形県北と秋田県南の交流促進及び国道13号の隘路解消のため整備を行っています。

今年度は、金山町飛ノ森～同町中田間（延長4．9km）の舗装工事を完成させ、暫定2車線での全線供用を図ります。



▼金山町飛ノ森～中田間の施工状況(H18．6月撮影）



▼飛ノ森地区の工事状況　(H18.9月撮影）



－主寝坂（しゅねざか）道路の整備効果－
安全で信頼性の高い交通の確保

○国道13号現道は、急カーブ、急勾配の連続と幅員の狭いトンネルによりスムーズな走行を妨げられ、大雨による通行規制（連続雨量150mm）時、大幅な迂回を強いられるなど、主要幹線道路としての機能が十分に発揮されていない。

○通行規制区間の回避による迂回の解消。
○秋田・山形両県の地域間交流の活性化
○道路線形が良くなりﾄﾝﾈﾙも広く明るくなり、快適な走行環境が実現
○冬期走行環境の改善



通行止め時の大幅な迂回の回避



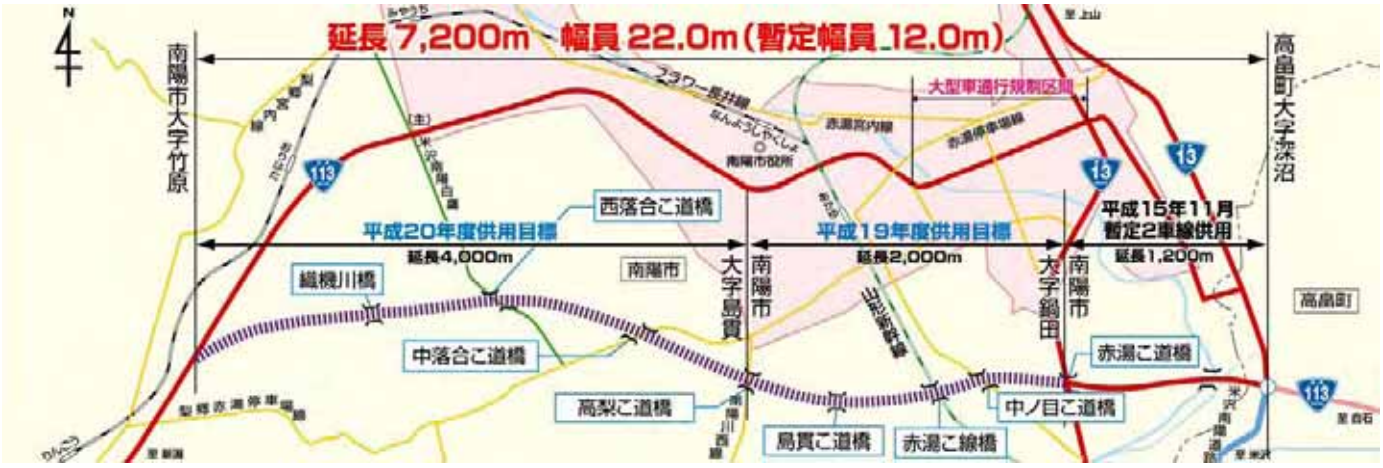
現道のﾍｱﾋﾟﾝｶｰﾌﾞ(金山町飛ノ森付近)



2）赤湯バイパス（部分供用、継続）

置賜地域内の連携強化の促進及び国道113号南陽市街地の交通隘路解消のため整備を行っています。

今年度は、南陽市島貫～鍋田地内（延長2.0km）の舗装工事を完成させ、暫定２車線で供用を図るとともに、南陽市竹原～島貫間（延長4.0km）の橋梁工事及び土工工事を推進します。



▼南陽市鍋田から南陽市島貫方面の全景(H18．６月撮影)



▼南陽市島貫地内の工事状況(H18.12月撮影)



－赤湯（あかゆ）バイパスの整備効果－
災害時の緊急輸送路確保

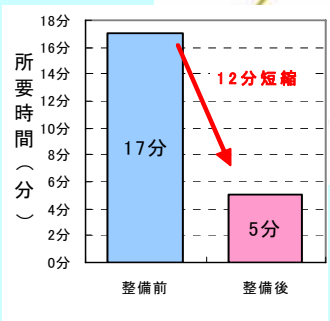
○国道113号現道市街地区間は、幅員が狭く、直角曲がりが2箇所あり、大型通行規制区間があるなど、主要幹線道路としての機能が十分に発揮されていない。また、豪雪地帯にも関わらず堆雪余裕がなく、安全性や災害時の緊急輸送路の面からも問題が指摘されている。

○災害時の緊急輸送路確保
○騒音や振動等の軽減による沿道環境の改善
○冬期走行環境の改善及び歩行者の安全性確保
○大型車通行規制区間の回避



大型車走行ルートと所要時間





南陽市赤湯の混雑状況



3）上山バイパス（部分供用、継続）

国道13号南陽市中川～上山市半郷間の交通混雑解消、安全性向上、沿道環境改善のため整備を行っています。

今年度は、上山市中山～川口地内（延長1.2km）の舗装工事を完成させ、暫定2車線（一部4車線）での供用を図ります。上山市中山地内においては構造物工事、土工工事を推進し、南陽市中川地内においてはトンネル工事を推進します。



▼上山市川口地内の全景（H18．6月撮影）



▼南陽市川樋から上山市中山方面の全景
(H18.6月撮影)



－上山（かみのやま）バイパスの整備効果－
地域間の交流・連携の促進

○国道13号現道は、「中川（なかがわ）交差点」、「川口（かわぐち）交差点」の2箇所の主要渋滞ポイントが存在し、朝夕のラッシュ時をはじめ渋滞が発生しており、通勤や産業活動に支障をきたしていることから、主要幹線道路としての機能が十分に発揮されていない。

○主要渋滞ポイント「中川交差点」「川口交差点」の渋滞解消
○騒音や振動等の軽減による沿道環境の改善
○冬期走行環境の改善及び歩行者の安全性確保
○災害・事故等緊急時の迂回路確保



バイパス整備による所要時間短縮



川口交差点付近の渋滞状況



4）東北中央自動車道【新直轄区間】（継続）

（福島～米沢間）



東北中央道の福島～米沢間（延長28.6km）は、福島市～米沢市万世町に至る高速道路で、平成14年度より工事着手、土工・構造物工事を推進してきました。また、福島・山形の県境は延長約9kmの栗子トンネルで結ぶ計画となっており、平成17年度より避難坑の掘進工事に着手しています。この区間の整備により、大雨や風雪による事前通行止めの解消、雪による交通障害を解消し、冬期間も安定した交通機能の確保が期待されます。
山形河川国道事務所では、県境～米沢市万世町間（延長11.5km）を担当し、平成19年度は、土工工事、トンネル工事、構造物工事の推進を図ります。



▲米沢市刈安付近より県境方面を望む

（米沢～米沢北間）



東北中央道の米沢～米沢北間（延長7.8km）は、米沢市万世町～米沢市窪田町に至る高速道路で、工事の進む県境区間（福島～米沢間）と米沢南陽道路を結び、山形県南地域を高速ネットワークへ組み入れ、地域産業の支援（物流の迅速化）、地域連携支援に大きな役割を果たします。
平成19年度は、早期着工を図るため、調査・設計を推進するとともに用地買収に着手します。



▲米沢IC（仮称）付近より米沢北IC方面を望む

（東根～尾花沢間）



東根～尾花沢間（延長23.3km）は、東根市～尾花沢市に至る高速道路で、平成14年に開通した上山～東根間と現在工事推進中の尾花沢新庄道路を接続し、並行する国道13号の渋滞緩和や信頼性の高いネットワークの充実を図るうえで重要な区間です。
平成19年度は、調査・設計及び用地買収を推進するとともに、土工工事、構造物工事に着手します。



▲尾花沢IC（仮称）予定地

5）尾花沢新庄道路（継続）

村山地方と最上地方の交流促進及び国道13号の交通混雑解消のため整備を行っています。

今年度は、昨年度供用した尾花沢市野黒沢～毒沢間（延長6.1km）に引き続き、尾花沢市尾花沢～野黒沢間（延長4.0km）の土工工事・構造物工事を実施します。



▼村山市から尾花沢方面(H18．6月撮影)



▼平成18年度供用区間（尾花沢市野黒沢地内）



6）新庄北道路（継続）

国道13号新庄市松本～十日町間の交通混雑解消、沿道環境改善のため整備を行っています。
今年度は、調査設計・用地買収を推進するとともに、構造物工事、土工工事を推進します。



▼新庄市松本から十日町方面（H18．6月撮影）



▼指首野川橋施工状況（H18．12月撮影）

